

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年3月29日

【会社名】 セガサミーホールディングス株式会社

【英訳名】 SEGA SAMMY HOLDINGS INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長グループCEO 里見 治 紀

【本店の所在の場所】 東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー

【電話番号】 03(6864)2400(代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員財務経理本部長 大脇 洋 一

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー

【電話番号】 03(6864)2400(代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員財務経理本部長 大脇 洋 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、2023年9月28日開催の取締役会において、主に欧州拠点におけるコンシューマ分野（エンタテインメントコンテンツ事業）の構造改革の実施を決定し、構造改革を進めておりますが、2024年3月28日開催の取締役会において、構造改革の施策につき決議いたしました。当グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき本報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 当該事象の発生年月日

2024年3月28日（取締役会決議日）

2. 当該事象の内容

構造改革 実施の背景

コロナ禍における巣ごもり需要からの反動減やインフレ等による経済環境の悪化などを受け、特に欧州地域におけるコンシューマ分野を取り巻く事業環境の変化が急速に進み、収益性が悪化しております。当社においては、このような環境変化に早急に適応し収益改善を実現すべく、欧州拠点の構造改革の実施を決定し、同拠点における中期ラインナップの見直し、固定費適正化・投資効率改善及び開発/販売体制・管理体制見直しに関する検討を進めてまいりましたが、この度、下記3点の実施を決定いたしました。

- (1) Relic Entertainment, Inc.（以下、Relic）の譲渡
- (2) 中期ラインナップの見直し
- (3) 固定費の適正化

構造改革 各施策の詳細

(1) Relicの株式譲渡

当社の連結子会社であるRelicの全株式を譲渡することを決定しました。これに伴い、事業再編損約47億円を特別損失として計上する見込みです。なお、株式譲渡により、Relicは当社の連結子会社から除外されます。

(2) タイトルポートフォリオの見直し

欧州スタジオにおける中期ラインナップを見直した結果、一部の開発中タイトルの仕掛品の評価減を実施することとなりました。これに伴う損失約56億円を売上原価として計上する見込みです。

(3) 固定費の適正化

開発体制及び中期ラインナップの見直しを進めると同時に、固定費の適正化を目的として、欧州地域の複数の拠点において約240名の人員削減を実施する事を決定しました。これに伴い、事業再編損約15億円を特別損失として計上する見込みです。なお、2023年9月に公表した欧州スタジオにおける一部の開発中タイトル中止に伴い、既に約250名の人員が削減されております。

3. 当該事象の連結損益に与える影響額

構造改革の各施策の実施に伴い、2024年3月期において、新たに約56億円の売上原価と約62億円の特別損失を計上する見込みです。